

誰もが必ず直面する人生の最終段階。

あなた自身や大切な人が、よりよい最期を迎えるためには、
どんな心構えや準備をしておけばよいのか。

大事なことは思いながら、ふだんの生活では避けがちなこの問題を、
どなたでも気軽に参加いただけるゲームを通して、
いっしょに考えてみませんか。

「もしバナ」ゲーム体験会

ー リビング・ウイル交流サロン ー

【講師】 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
がん性疼痛看護認定看護師(青山亜季奈さん)
緩和ケア認定看護師(武藤直美さん)

【とき】 6月25日(水) 午後1時半～3時

【場所】 青木記念ホール 名古屋市中村区中町3-30
(地下鉄中村公園駅から徒歩約8分)

【主催】 公益財団法人 日本尊厳死協会東海北陸支部

※事前申し込みが必要(定員 20 人になり次第 締めきり)です。

申し込みは、下記にお願いします。

日本尊厳死協会東海北陸支部

TEL 052(481)6501

FAX 052(486)7389

E-mail tokai@songenshi-kyokai.or.jp

無料

もしバナゲーム

米国法人が開発した「GO WISH GAME」
を原版として、iACP が日本語翻訳・出版を
行う日本語版。

1セット 36 枚のカードのうち 35 枚には重
病のときや死の間際によく口にする「どの
ようにケアしてほしいか」「誰にそばにいて
ほしいか」などの言葉が書いてあります。
これらのカードをルールに従って選択し、
その優先順位をつけることで「何が自分
にとって重要なのか。なぜそれが必要なのか」
を考えていきます。

